



クリックとクリニック： 電子医療の 迷路のナビゲーション

フィリピン人におけるオンライン医療を
利用する消費者の難題に関する研究

フィリピン カビテ州立大学

健康詐欺とは？

- さまざまな通信チャネルを通じて、多くの場合、意図されずに流布される、健康や医療についての誤った、あるいは誤解を招くような情報を、健康に関する誤情報という。
- 健康に関する誤情報は、SNS、ウェブサイト、ニュース媒体、口コミ、その他の情報手段を通じて広まる。
- このような虚偽情報は、医療行為、病気、ワクチン、食生活などに関する噂や、大げさな主張、根拠のない主張など、さまざまな形で紹介される。



フィリピンの状況

フィリピンでは、コロナ禍で人々が家に閉じこもり、医者にかかるのをためらうようになる前から、多くの人々がオンラインで治療法を探していた。その方が安く、利用しやすかったからだ。

貧しい人々は、多くの場合、次のような複数の相互に関連する理由から、偽造品や安価な健康食品の被害を受けやすい:

- 経済的な制約
- 質の高い医療へのアクセス制限
- 絶望
- 不十分な健康教育

例

KUYA DODZ
herbal products

ANTI-ARTHRITIS

Arthritis
Gouty arthritis
Rheumatoid arthritis
All joints and nerve pains
Control level of uric acid

PRESTIGE
ETHYL ALCOHOL
70% with moisturizer
ANTISEPTIC | ANTIBACTERIAL
ANGEL'S BREATH SCENT
KILLS 99.9% OF GERMS!!
FDA
100%
FRESH & CLEAN

DOC APO HEALING EYE DROPS

NAWALA ANG PUGITA AT GLAUCOMA SA KANYANG MATA

フィリピンにおける健康詐欺の統計値

フィリピンでは、パンデミックの間、試験未実施の化粧品や慢性疾患の即効薬に関する偽情報が爆発的に拡散した。その大半は、フィリピンの7,600万人ものインターネット・ユーザーの間で最も人気のあるソーシャルメディア・プラットフォーム、フェイスブックに無料で投稿されたり、有料広告として表示されたりした。

フィリピンの人口の50%以上は貧困層に分類される。この層の多くは必需品を入手できず、特に医療ニーズを満たすことが難しい。Robredo 他(2022)の調査によれば、フィリピンではセルフメディケーションの実施率が高く、31%から66%にも上る。特に、診察や診断にかかる費用を惜しみ、診療所の待ち時間が長いことによる生産性の損失を避けたい低所得者世帯では、セルフメディケーションがヘルスケアの一形態として役立っている。中低所得国(LMICs)の高所得者層では、セルフメディケーションが一般的になっている。

カビテ州立大学が行った調査によれば、

- フィリピンでは、46.3%の学生が医療を受けるのは非常に難しいと考えており、29.3%の学生が難しいと考えている。
- 41.8%の学生が健康関連の宣伝コンテンツをよく目にしており、28.4%の学生は常に同じコンテンツを目にしている。
- 43.3%は、コンテンツクリエイターによる栄養機能表示をよく目にしており、19.4%の学生は常に同じコンテンツを目にしている。
- 71.6%は医師から適切な相談や処方を受けずに薬を服用したことがある。
- 19.4%の学生がセルフメディケーションによる副作用を経験している。
- 回答者の半数以上が、セルフメディケーションを行う主な理由として、「経済的な制約」(58.2%)と「インターネットの情報の豊富さ」(53.7%)を挙げている。

フィリピンにおける健康詐欺を取り締まる既存の政策

製品の焼却と没収



偽造医薬品と美容製品の廃棄(マニラ)



フィリピン関税局(BOC)は、押収された約30億ペソ相当の偽造美容・パーソナルケア製品を廃棄した。

[共和国法第8203号]偽造医薬品の禁止、違反に対する罰則、資金の充当に関する法律。

フィリピンで登録済みの対応ブランドのない未登録の輸入医薬品を規制する規則。フィリピンで登録済みの対応ブランドのある、未登録の輸入医薬品は偽造品とみなされる。

慣習の規制

Shivastrava他(2022)の研究では、セルフメディケーションの慣習を抑制するための対策として、調剤行為の規制、医療サービスへのアクセスの向上、啓発プログラムの実施などが推奨されている。

- インターネットにまん延する健康詐欺を対象とした法律の強化。
- インターネットにおけるこうした行為を摘発する専門機関を設立すべきである。
- 特に、経済的に恵まれない人々が暮らす遠隔地に、診療所や保健センターを設置すべきである。



根本的な対策：消費者の意識が鍵

- ソーシャルメディアのトレンドを利用し、認知度を高める。問題の根源を、セルフメディケーションの慣習に対抗する利点として活用する。例：TikTok動画や、フェイスブック、インスタグラム、YouTubeでリールを作成する。
- コンテンツを作成し、今人気のある特定の健康食品に関する誤った情報に対する認知を広めるために、有名なコンテンツクリエイターをも利用できるかもしれない。その方がより効果的に消費者の注目を集められる可能性がある。
- 学校は大きな影響力を持つ教育機関として、市販の医薬品の消費にもっと責任を持つよう、セミナーやシンポジウム、その他の可能な手段を通じて青少年を教育、育成しなければならない。
- ニュース・ラジオ局や新聞社とのタイアップにより、より多くの視聴者や読者に呼びかける。

